

令和4年11月7日



光が丘第二中学校 学校だより

TEL 3976-9202 FAX 5383-3608
http://www.hikarigaoka2-j.nerima-tyky.ed.jp



合唱コンクールを終えて

校長 山田 美鈴

コロナウイルスの影響により、マスク着用が日常当たり前のこととなりました。諸外国に比べ特に日本はその傾向が強いようです。長引くコロナ禍によって、むしろ感染症対策というより、素顔を見せることに抵抗を感じる人が増えています。口元の表情を隠し、相手から自分の心理状態が読み取られにくい状況が出来上がり、結果対人関係の様々な不安から、マスクが自分を守るための必需品となってしまっているようにも思えます。

しかしながら対人関係におけるコミュニケーションは、話す側の表情や仕種、声のトーン等によって聞き手が話し手の感情を受け止めているのです。アメリカの心理学者メラビアンによる「メラビアンの法則」では、話し手が聞き手に与える印象は<言語情報7%><聴覚情報（声のトーンや話の速さなど）38%><視覚情報（表情・仕種・見た目など）55%>という実験結果があるそうです（「東京都の学校保健」第163号より）。要するに聞き手に与える印象はかなり聴覚情報や視覚情報の割合が高いということです。

先日、3年ぶりに合唱コンクールを行いました。コロナウイルス感染が完全収束したわけではありませんが、生徒たちの学びを止めずに安全に行うためにどうしたらよいか校内で様々な検討し、マスクを着用しての練習、本番といたしました。

本番は練習の成果を存分に発揮する場です。本番だけマスクを外すという策も視野に入れていましたが、区のガイドラインに則り、練習中から安心して大きな声を出す練習を重ねてきた最終地点は、結局練習同様であるべきと判断し、今までの経験からは異様とも思えるマスク着用の合唱となりました。それでも生徒たちは真剣なまなざしで指揮者・伴奏者に心を合わせ、熱唱していました。

「目は口ほどにものを言う」という諺もあります。口元がマスクで隠れている分、眼力や歌う姿勢といった視覚情報から、そして何より心のこもった歌声から、聴く人すべてに感動を与えてくれた合唱コンクールでした。全生徒に心からありがとうと伝えます！

いずれノーマスク生活が戻ってきたときに、生徒たちがマスク生活の中で培ったコミュニケーションの工夫を上手に活用して、堂々と笑顔でコミュニケーションがとれることを願っています。

＜合唱コンクール＞ 11月1日(火) 「青天の霹靂～熱唱の祭(フェスティバル)～」



金賞 1年1組
2年2組
3年3組



おめでとう！

実行委員の皆さん、よく頑張りました！ありがとうございました。

＜職場体験(2年)＞ 10月12日(水)、13日(木)

2年生が2日間にわたり職場体験を行ないました。主な体験先は手作りみそ店・保育園・清掃工場・飲食店など約40カ所になります。生徒たちも学校では経験できない貴重な体験を積むことができました。



清掃工場



幼稚園



園芸店

＜職業体験夢らくざプロジェクト(2年)＞ 10月14日(金)

2年生は職場体験の後、「夢らくざプロジェクト」として職業体験を行ないました。ファッションデザイナー、イラストレーター、建築家、舞台俳優、気象予報士など8つの職業の方を講師としてお招きし、アドバイスをもとに実際に体験をしました。



＜校外学習(1年)＞ 10月14日(金)

1年生は校外学習として川越に行きました。班で決めた行程を守ろうと、途中走る姿もありました。

＜英語学芸会＞ 10月22日(土)



本校英語部が区英語学芸会(生涯学習センター)にて見事にSpeechを行いました。校外での活躍を今後も応援しています！

